

中央区地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成21年度～26年度）

資料 2

目標1 支え合い、助け合いのできる地域づくり

- ① 地域のつながりを広げよう
- ② 地域で見守ろう
- ③ 地域で福祉の輪を広げよう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金	地域福祉推進に向けた先導的な取り組み、活動を行う団体に対して補助金を交付する	区役所			「災害時要援護者・高齢者の安心・安全見守りたい(隊)」	→ 「女性だけの生活応援隊」		
2	一人暮らし高齢者などの見守り体制整備支援	高齢者をはじめ児童、障がい者などを地域で見守る体制整備を促し、住み慣れた地域での安心安全な暮らしを確保する		地域団体へ説明会 講演会開催 アンケート実施	講演会開催 見守りマニュアル配布	-	-	-	-
3	あんしん見守り支援事業	一人暮らしの高齢者などを地域が支え合い、気軽に声を掛け合う地域づくりを進めるため活動マップを作成する		-	-	地域見守り活動マップ(冊子)作成	地域見守り活動マップ(概要版)作成全戸配布	-	-
4	超高齢地域支え合いモデル事業	地域自らが主体となって高齢者の見守りや生活支援等に取り組み、高齢者の社会的孤立を防ぎ、地域で安心して生活できるまちづくりを進める		-	-	-	○栄小学校区 情報誌作成。訪問配布による見守り、ボランティア登録36名、会員180名	○栄小学校区 延べ訪問回数約6,000回、ボランティア登録40名、会員223名 ○山潟地区 取組検討会6回	○栄小学校区 (モデル事業終了後も継続) ○山潟地区 中学生ボラ18名、ごみ捨て実績213回
5	高齢者を地域で支えるモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、地域組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援		-	-	-	-	-	-

目標1 支え合い、助け合いのできる地域づくり

- ① 地域のつながりを広げよう
- ② 地域で見守ろう
- ③ 地域で福祉の輪を広げよう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
6	地区社協代表者会議の開催	地区社協代表者による研修・会議	中央区社会福祉協議会	年2回	年2回	年2回	年3回(5・9・2月)	年3回(5・8・2月)	年3回(5・8・2月)
7	幹事(自治・町内会長)研修会	幹事を対象とした研修会・助成説明等を行う		213名	220名	241名	238名	224名	216名
8	地域社協連絡会	区内を4地域に分け、各地域ごとに地域の課題等を話し合う場づくり		-	各地域 年2回	各地域 年3回	各地域 年3回	各地域 年3回	各地域 年3回
9	友愛訪問事業	ひとり暮らし高齢者等の孤独感解消や安否確認を兼ねて訪問		33団体 2,492世帯	24団体 2,523世帯	31団体 2,633世帯	33団体 2,649世帯	33団体 2,692世帯	36団体 2,678世帯
10	おせち料理配食事業	友愛訪問事業対象世帯へ年末おせち料理を配布		2,654世帯	2,749世帯	2,841世帯	2,904世帯	2,902世帯	2,882世帯
11	夕食宅配サービス事業	社会的に孤立する可能性のある高齢者世帯への配食サービス		65世帯	50世帯	36世帯	26世帯	23世帯	22世帯
12	配食・ご用聞き「あんしん食宅サービス」事業	県総合生協と協働による夕食宅配サービスを通じ安否確認や見守り		-	-	-	476世帯	498世帯	302世帯
13	モデル地区社協指定事業	地区社協・コミ協・民協で協働で行う見守りの先駆的な取組み		4地区	2地区	3地区	3地区	4地区	5地区
14	福祉協力員事業(助成)	小地域を中心としたひとり暮らし高齢者等の見守りネットワーク		-	-	-	1団体	3団体	2団体
15	まごころヘルプ事業	家事援助など日常生活支援を行う住民参加型サービス		463世帯	480世帯	515世帯	511世帯	434世帯	245世帯

<p><b>【区役所取組結果】</b></p> <p>○見守りマニュアルや地域見守り活動マップを作成し、地域において見守りに対する関心を高め、見守りの具体的実施に向けての活動が各地域ですすめられるようになった。</p> <p>○超高齢地域支え合いモデル事業では、モデル地区となった栄地区、山潟地区ともモデル事業終了後も引き続き事業を継続し、高齢者の見守りの仕組みが地域に根付いている。</p>	<p><b>【中央区社会福祉協議会取組結果】</b></p> <p>○歴史的・地域的につながりのある地域を4つに分けた地域社協連絡会で地域ごとの福祉課題解決に向けた情報交換や交流が図ることができ、地区社会福祉協議会の活動が活性化してきた。</p> <p>○高齢者の見守り活動は、コミ協や地区民児協等の協働により、モデル地区社協指定事業や友愛訪問事業などから、地域にふさわしい見守り・声かけ活動を進められている。</p>
--	---

目標2 仲間づくりのための交流の場づくり

- ① 高齢者の交流の場をつくろう
- ② 子どもの交流の場をつくろう
- ③ 障がい者(児)の交流の場をつくろう
- ④ 世代を超えた、地域交流の場をつくろう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	にいがた安心ささえ 愛活動支援事業補助 金	地域福祉推進に向けた先導的な取り組み、 活動を行う団体に対して補助金を交付する	区役所	「おでかけ茶の間」 「みんなが仲間、愛 のリレーコンサート」	「ふれジョブ新潟中 央区(鏡淵)」	「みんなの家とも も」	→		
2	超高齢地域支え合い モデル事業	地域自らが主体となって高齢者の見守りや 生活支援等に取り組み、高齢者の社会的孤 立を防ぎ、地域で安心して生活できるまちづ くりを進める		-	-	-	○入舟小学校区 お互いさまランチ5 回開催241名参加	○入舟小学校区 お互いさまランチ6 回、318名	(モデル事業終了後 も継続開催)
3	高齢者を地域で支え るモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図る ため、地域組織やNPOなどが行う高齢者を 地域で支える活動を支援							○長嶺地域 高齢者の居場所
4	中央区にちよう育児 相談室	商業施設(デッキィ401)で育児相談を開催 24年度までは月4回、25年度から月3回		-	利用件数727件	831件	758件	590件	749件
5	にこにこスキンシップ	月1回実施。生後3か月～5か月の乳児を対 象に親子のスキンシップを図り、仲間づくりを 支援		-	参加親子131組	155組	161組	-	-
6	ふれあいスキンシップ	生後3か月頃の乳児を対象にママとパパと 子どもの愛着形成を促し、父親の育児参加 のきっかけをつくる		-	-	-	-	参加者246名	276名
7	妊婦と先輩ママとの 情報交換会	妊婦を対象に先輩ママの体験談を聞きなが ら仲間づくりを支援		-	参加者70名	75名	89名	97名	109名
8	生きがい対応型通所 事業	介護予防と社会参加の促進を目的とした高 齢者のサロン		開催回数425回 参加者3,281名	開催回数418回 参加者3,107名	開催回数429回 参加者2,833名	開催回数423回 参加者2,915名	開催回数413回 参加者2,766名	開催回数 435回 参加者2,825名

目標2 仲間づくりのための交流の場づくり

- ① 高齢者の交流の場をつくろう
- ② 子どもの交流の場をつくろう
- ③ 障がい者(児)の交流の場をつくろう
- ④ 世代を超えた、地域交流の場をつくろう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
9	ふれあい事業助成 (自治・町内会)	自治・町内会を単位とした世代交流事業に助成	中央区社会福祉協議会	76自治・町内会	90自治・町内会	78自治・町内会	83自治・町内会	93自治・町内会	101自治・町内会
10	コミュニティ活動推進事業(地区社協)	地区社協とコミ協の協働事業に助成		10地区社協	11地区社協	13地区社協	14地区社協	16地区社協	14地区社協
11	歳末たすけあい事業(地域の各種団体)	歳末時期の地域コミュニティで行われる世代交流事業に助成		15団体	17団体	19団体	17団体	23団体	24団体
12	地域の茶の間(いきいきサロン)	身近な地域で気軽に集まり交流する居場所の支援		30団体	41団体	44団体	48団体	49団体	51団体
13	一時保育事業	社協、外部の団体などの研修・イベント時の一時保育		5事業26名	10事業41名	11事業49名	11事業34名	1事業1名	—
14	中央区社協子育てサロン事業	車などがない方でも気軽に来れる子育てサロン		延べ50組 130名	延べ70組 170名	延べ186組 393名	延べ220組 509名	延べ189組 405名	延べ155組 339名
15	親子でなかよく映画をみよう!!	新潟市民映画館・シネ・ウインドと共催で映画上映を実施		195名	250名	355名	142名	廃止	

【区役所取組結果】

○親子のスキンシップの場や妊産婦の情報交換会などに大勢の参加者があり、父親も育児に参加することにより、母親の育児不安の軽減や孤立化の防止につながった。  
○地域の力を借りた高齢者の交流の場をつくることができた。

【中央区社会福祉協議会取組結果】

○自治・町内会やコミ協で行う世代交流事業を取り組む地区が増えるとともに、参加者が年々増加し、顔の見える関係が築かれ、地域のことに関心を持つようになってきた。  
○高齢者の閉じこもり予防や孤立・孤独感の解消、参加者の生きがいづくりに地域の茶の間は、一定の成果があった。

目標3 いつでも気軽に相談できる仕組みづくり

- ① 情報を分かりやすく伝えよう
- ② 利用者の権利を守ろう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	にいがた安心させ愛活動支援事業補助金	地域福祉推進に向けた先導的な取り組み、活動を行う団体に対して補助金を交付する	区役所	「かけれて、なじらね広場」					
2	出前講座	地域課題を解決するための取り組みを紹介		-	-	-	-	-	8件
3	高齢者を地域で支えるモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、地域組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援		-	-	-	-	-	○天明町自治会生活相談 ○長嶺地域地域包括ケア勉強会
4	子育て情報誌「たち」発行	現役ママたちの目線で作成した情報誌を発行		-	-	1号・2号を各8,000部	3号10,000部	4号10,000部	5号10,000部
5	妊婦と先輩ママとの情報交換会(再掲)	妊婦を対象に先輩ママの体験談を聞きながら仲間づくりを支援		-	参加者70名	75名	89名	97名	109名
6	中央区地域まちづくりシンポジウム	各地区の見守り活動の実践発表を通じた意識啓発	区役所 中央区社協	-	-	-	参加者320名	250名	200名
7	地域社協活動センターの設置	地域の相談窓口及び地域社協連絡会の拠点(県社協モデル事業)	中央区社会福祉協議会	-	しもまち地域に設置	江東地域に設置(11月)	しもまち地域江東地域	しもまち地域江東地域	しもまち地域江東地域
8	日常生活自立支援事業	福祉サービスの利用援助等を目的とした事業		契約33名	契約45名	契約45名	契約57名	契約56名	契約59名
9	機関紙「中央区社協だより」発行	区社協事業の紹介、イベント等の案内を定期的に行う		年2回(新聞折込)	年3回(幹事経由)	年3回(幹事経由)	年3回(幹事経由)	年4回(幹事経由)	年4回(幹事経由)
10	市民向け講演会	幅広い世代を対象にした講演会		羽生善治講演会500名	奥村愛コンサート500名	林家木久扇落語会500名	延期	山形由美コンサート670名	-
11	コミュニティFM定期放送	子育て世代を中心とした情報番組「920@コミュニティ」		ボランティアによる放送	ボランティアによる放送	ボランティアによる放送	ボランティアによる放送	廃止	
12	専用ホームページ	中央区社協の情報発信/データのダウンロード		アクセス数月1,000件	アクセス数月1,200件	アクセス数月1,600件	アクセス数月1,600件	アクセス数月700件	アクセス数月725件
13	地域福祉ネットワーク会議	毎年テーマを「設定し、専門職との連携を推進・強化するためにネットワーク会議を実施			地域福祉ネットワーク会議を立ち上げ年1回	年2回	年2回	年1回	年3回 ゴミ屋敷ガイドラインの作成

<p>【区役所取組結果】</p> <p>○出前講座や、「子育て情報誌」の発行、シンポジウムの開催など、いろいろな方法で情報発信した。 ○地域の茶の間や、講演会等に参加しない人に、どうやって関心を持たせ巻き込んでいくかが課題である。 ○まちづくりシンポジウムを平成24年度から開催し、参加者からは、地域の活動を推進する上で参考になるとの感想をいただいている。参加人数については年々減少しており、地域の方々のより関心の高い講演内容を考える必要がある。</p>	<p>【中央区社会福祉協議会取組結果】</p> <p>○社会福祉協議会事業をより多くの人から理解してもらえよう、機関紙やホームページで情報発信しているが、認知度は十分ではないので、見やすくわかりやすく情報を発信していく方法を考える必要がある。 ○通年で行う各種事業を活用した広報・啓発を図り、区民、企業、団体へ地域福祉活動への意識の高揚を図っていく。 ○専門職とのネットワーク会議を重ねることにより、ゴミ屋敷のガイドラインを作成することがとできたので、継続的に開催することで、課題の集積や現状の共有を進め、解決への仕組みづくりに繋げる。</p>
---	--

目標4 いきいき健康づくり

- ① 健康に暮らそう
- ② 健康づくりの環境をつくらう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金	地域福祉推進に向けた先導的な取り組み、活動を行う団体に対して補助金を交付する	区役所				「健康づくり たのしく運動ノルディックウォーキング」		
2	高齢者を地域で支えるモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、地域組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援		-	-	-	-	-	○天明町自治会 天明健康体操教室 ○長嶺地域 活動環境整備
3	健康づくり大学開催	鏡淵小学校区コミ協との協働で健康づくり環境を整備し、60歳以上を対象に講座を実施		-	-	8回 参加者延べ268名	9回 290名	(モデル事業終了後も継続開催)	
4	鏡淵ふれあいスポーツクラブ設置	インストラクターと看護師の配置及び、運動機器を配置し健康づくりの環境整備を図る		-	-	利用者延べ717名	784名		
5	地域で健康づくり支援事業	地域コミュニティのつながりを基盤として、地域のサークル・団体やスポーツクラブ等の事業者、食生活改善推進委員などの社会資源を活用した地域主体の健康づくり事業		-	-	-	-	○礎地域 健幸教室8回 参加者延べ203名 ○南万代小学校区 健幸教室7回 参加者延べ187名	○新潟地区 健幸教室7回 参加者延べ190名 ○南万代小学校区 健幸教室11回 参加者延べ359名

<p><b>【区役所取組結果】</b>          ○地域の方々が楽しみながら、運動不足を解消する機会をつくることができ、また、地域主体で事業を実施したことで、事業を継続できる体制ができた。          ○モデル事業の中には、市からの委託料が終了すると継続がむずかしいと思われる事業内容もあり、地域と一緒に考えていく必要がある。</p>	<p><b>【中央区社会福祉協議会取組結果】</b>          ○事業としての取り組みはないが、区役所事業と連携しながら、地域と方々と健康づくりを考えていく。</p>
--	---

目標5 安心して暮らせる地域づくり

- ① 気軽にでかけられるようにしよう
- ② 防犯・防災体制をつくろう

	事業(取組)名	内容	担当	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	災害時要援護者対策	高齢者や障がい者、要介護者など災害時に自力で避難することが困難な方の名簿を地域の自主防災組織に配布し、災害時に支援	区役所	自主防災組織 結成率 72.3%	自主防災組織 結成率 75.0%	自主防災組織 結成率 77.0%	自主防災組織 結成率 81.7%	自主防災組織 結成率 82.0%	自主防災組織 結成率 83.0%
2	あんしん見守りネットワーク事業	一人暮らしの高齢者などを地域が支え合い気軽に声を掛け合う地域づくり。民間事業者と連携した見守りネットワーク構築	区役所 中央区社会福祉協議会	-	-	-	ネットワーク構築		
3	緊急情報キット配布事業	高齢者世帯で健康上不安のある方に病気や服薬、緊急連絡先を記載する情報用紙と筒を配布	中央区社会福祉協議会	モデル地区社協 2地区	モデル地区社協 2地区	モデル地区社協 2地区	モデル地区社協 2地区	モデル地区社協 4地区	モデル地区社協 1地区
4	災害ボランティアセンター	災害ボランティアネットワーク委員会を平成24年に発足し、災害ボランティアセンター設置運営マニュアルを策定し、災害ボランティアセンター設置訓練の実施と関係団体のネットワークの構築					災害ボランティアネットワーク委員会 立上げ	設置訓練開始 参加者 51名	設置訓練 1回 参加者 81名

<p><b>【区役所取組結果】</b>                  ○災害時要援護対策では、災害に対する意識が高まり、自主防災組織の結成率も年々上昇しているが、自主防災組織未結成地域における要援活動が課題である。                  ○平成24年度からあんしん見守りネットワーク事業を開始し、協力事業所は年々増加している。                  ○事業以外では、視覚障がい者が安心して出かけられるよう、白山駅前に音響付信号機を要望し、設置にいたった。</p>	<p><b>【中央区社会福祉協議会取組結果】</b>                  ○災害に対する区民の防災及び災害ボランティアに関する関心が高まっていることは、災害ボランティアセンター設置訓練の参加者数が増加していることから伺える。                  ○緊急情報キット配布事業は、年々対応している地区社協が増えてきているが、消防署等関係機関との連携を深めていく必要がある。</p>
---	---